

2021年3月18日 第2434回例会
3月第3例会

RIテーマ ROTARY: ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
「ロータリーは機会の扉を開く」

本年度会長テーマ
「ロータリーを心地よく」

「水と衛生月間」

◆ 会長時間 ◆

浜田会長



今月は「水と衛生月間」となっております。地球上に存在する水の97.2%は海洋すなわち海にあり、残りの3%弱の淡水のほとんどは氷河・冰山として個体で存在している

とのことです。地球上の水のコンマ数パーセント以下の淡水を利用して地上の動植物は生かされているという訳です。なかでも人類はかなり強引にその淡水を使用している訳ですが、なんと約7割は農業用水として使用しているとのことです。

1人当たりの使用量を見ますと、途上国の人は1日あたり数リットル程度ですが、先進国ではそれが数百リットルという国が多く、途上国と先進国の間に大きな差があるようです。

世界で最も安全な国、最も競争力のある美しい国と言われるシンガポールの水事情を見ますと、隣国マレーシアからの水の供給に頼らざるを得ない現状からの脱却を図るため、海水から真水をつくる企業を熱心に誘致したり、食糧危機に備えて人工肉の製造を奨励したりしているようです。

お陰様で現在のところ、水にあまり不自由を感じていないわが国では、新型コロナウイルス対策としても手洗いに消毒にと水をふんだんに使用させていただいております。

「瑞穂の国 日本」と申しますが「みずみずしい稲穂の国 日本」という意味だそうです。水に感謝し、大切に使うよう心がけたいものです。

☒ 物故会員に黙禱

1997-98年度 RI第2710地区ガバナー（防府RC）南園 義一氏が3月12日(金)にご逝去されましたので、謹んでお知らせいたします。（享年93歳）

☒ ロータリー財団「ベネファクター認証状及び襟ピンの伝達、ポール・ハリス・フェロー認証状及び襟ピン、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー襟ピン」の伝達

ベネファクター



片山 恵太 君

ポール・ハリス・フェロー



福田 康彦 君

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



第1回 小田 清和 君



第1回 土井 英幹 君



第1回 坂田 恵希君



第1回 村上 健一君



第2回 児玉 裕志君



第2回 斉藤 昭一君



第2回 刀禰 明君



第3回 田中 健志君



第5回 井原 俊彦君



第7回 大本 和則君

● 会務報告

原 幹事

※地区大会のご案内

RI第2710地区2020-21年度地区大会が、5月16日(日)に開催されます。

例年、地区内ロータリアンが集う最重要行事となっておりますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の状況から、会場・移動等の環境を踏まえてWebでの参加も可能となっております。ご賢察の上、出欠のご回答を賜りますようお願い申し上げます。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
4/1(木)	新 会 員 卓 話 長谷川 剛君、村重 紀構君

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 井下委員長

本 日 (3月18日・木曜日)

会員数 89名 出席者 75名

欠席者 14名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 75名

2020年11月26日・木曜日

出席率 100%



※ 国際社会奉仕委員会

吉井委員長

クラブフォーラム(卓話時間延長)のご案内

次週例会は卓話時間を30分延長し、国際奉仕部門クラブフォーラムを下記の通り開催いたします。皆様、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時 3月25日(木) 卓話13:00~14:00

場所 ANAクラウンプラザホテル広島

例会場

内容 オンライン講演+ビデオ視聴

13:00~

卓話: コロナとSDGs-国連の視点

国連ユニタール広島事務所

所長 隈元 美穂子氏

13:30~14:00

アンケート記入

※ 次年度 松岡(輝)幹事

次年度の会員名簿等作成のためBOXに会員名簿等確認のお願いを入れておりますので、ご確認の上、事務局まで提出をお願いします。

● 同好会報告

※ 紫友会 川妻世話人

今回は12月、1月、2月、3月の4ヶ月分の紫友会の報告をさせていただきます。なおゴルフ場はすべて広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースで行われました。

12月12日(土)、優勝はグロス73 HDPC6.3 ネット66.7で上田君がシニア優勝、ベストグロス賞とともに勝ち取られました。

準優勝は村上(智)君、3位は梶本君、ブー

ビー賞は上野(彰)君でした。

1月9日(土)、優勝はグロス94 HDCP25.2 ネット68.8で松岡(幹)君がシニア優勝も同時に受賞。準優勝は梶本君、3位は斉藤君、ブービー賞は村上(健)君、ベストグロス賞はグロス78で上田君でした。

2月13日(土)、優勝はグロス85 HDCP13.5 ネット71.5で荒川君でした。準優勝は原君、3位は田原君、ブービー賞は北村君、シニア優勝は福田君、ベストグロス賞はグロス75で田原君でした。

3月13日(土)、優勝はグロス90 HDCP20.7 ネット69.3で斉藤君がシニア優勝も同時に受賞。準優勝は原君、3位は柳原君、ブービー賞は三浦君、ベストグロス賞はグロス75で上田君でした。

次回の紫友会 第10回例会は、4月10日(土)に広島カンツリー倶楽部 西条コースで開催いたします。

● 会員記念日

🗓️ご入会記念月おめでとうございます。

(4名)

長谷川(行)君 (S53年) 小橋君 (H14年)
松岡(輝)君 (H22年) 浜田君 (H22年)

🌸創業月おめでとうございます。

(10名)

中村(哲)君 カクサン食品株
大本君 大本・三宝・桑原法律事務所
斉藤君 日成産業株 中岡君 ㈱ナカオカ
小橋君 コアサ興産株 木本君 ㈱吉島タクシー
加藤君 ㈱御菓子所高木 荒川君 アイワ建設株
久保君 ㈱サンフレッチェ広島
平原君 ㈱平原商会

● スマイルボックス

SAA 隅田委員長

🗨️松岡(輝)君 (自主申告・大枚)

広島西ロータリークラブ大好きの長男が、このたび、第1志望であった関東の私大へ進学

することになりました。西RC好きだけあって、大学のイメージカラーも紫です。(思えば彼が7歳のころからクラブ行事に参加させていただいておりました。幼いながらも、会員の皆様から多くの刺激を受け、おかげさまで自分で選んだ進路に進むことができました。)皆様に感謝申し上げますとともに愚息の飛躍を祈り出宝させていただきます。

🗨️紫友会

上田君	優勝1回、シニア優勝1回、ベストグロス3回 (トリプル+トリプル)
斉藤君	優勝1回、3位1回、シニア優勝1回 (トリプル+シングル)
松岡(幹)君	優勝1回、シニア優勝1回 (トリプル)
荒川君	優勝1回 (ダブル)
梶本君	準優勝1回、3位1回 (ダブル)
原君	準優勝2回 (ダブル)
田原君	3位1回、ベストグロス1回 (ダブル)
村上(智)君	準優勝1回
福田君	シニア優勝1回
柳原君	3位1回
上野(彰)君	ブービー1回
村上(健)君	ブービー1回
北村君	ブービー1回
三浦君	ブービー1回

■ 卓 話

年男・年女放談



年男・年女放談

諏訪 昭浩君

今日はバイクの話をして。昨年、トライアンフというイギリスの世界最古のオートバイメーカー製の1200ccのバイクを購入して、15年ぶりにリターンライダーになりました。そして最近、30年間放置していたスズキのナナハンのレストアを始

めました。人間と違って機械は生き返ります。中学の時、父と古いバイクをレストアしたときに身につけた技術が基本にあるからできる作業です。その時の、僕と同じ1961年に生まれたヤマハの250ccは今でも健在です。

さて、日本のバイクメーカーの大発展は、僕が生まれた1961年から始まります。この年、アメリカではケネディ大統領が就任し、その翌年には人類を月に送ると演説しました。世界一豊かなアメリカに対して、日本は終戦後の貧困からやっと立ち直りつつあり、所得倍増計画がこの年から実施され、少し明るい兆しが見えてきた。バイクは商売の道具で、荷台がついているのが当たり前だったんですが、1961年始めて2人乗りシートがついた250ccのバイクが発売され、それまで仕事の道具だったバイクがはじめて娯楽の対象になりました。

また、この年、ホンダのバイクが日本のメーカーとして史上初めて、マン島TTレースという世界選手権レースで優勝しています。ホンダは1948年に創業した小さな町工場でした。創業者の本田 宗一郎は、1954年にマン島TTレースに出場すると宣言しました。耕運機を作っている弱小メーカーが出場すると言うんですから、かなりの笑いものになったそうです。

1959年、ホンダは宣言通りマン島TTレースにはじめて出場し、完走6位入賞を果たします。谷口 尚己選手が「ホンダ！ホンダ！」とバイクをアピールしましたが、誰も信じてくれなかった。当時のメイド イン ジャパンは、粗悪品の大量生産というイメージだったんですね。しかし、当時の通産省は、これで日本のバイクが世界で受け入れられるようになると予想し「一民間企業の成果だが、日本車の輸出に明るい見通しが立った。」と発表しています。

1960年には田中 健二郎選手が日本人ではじめてマン島TTレースの表彰台に上がります。そして、1961年、3度目の出場にしてホンダは優勝しました。世界がやっと信じてくれました。「ホンダってスゴイバイク作るらしいよ！」通産省の思惑通り、1961年に優勝するまで、ホンダのバイクの輸出台数は5万台程度でしたが、1965年には何と60万台、4年間で12倍に増加しました。

先陣を切ったホンダに見習って、スズキ、ヤマハ

と、日本のメーカーが世界グランプリで活躍し、世界グランプリを通して高性能をアピールした日本のバイクは劇的に売れ始めて今日に至ります。

このような、戦後、世界一になった工業製品は枚挙に暇がありません。かつてはジャパンアズナンバーワンとまで言われた。僕は経営コンサルティングの中で、成果を出すチームは「心」と「体」を持っている、と申し上げます。「体」とは、技術や道具、知識などで、経営者の多くはこれさえあれば成果が出ると思っています。しかし、成果を出すにはビジョン、モチベーション、やる気、向上心といった「心」が必要です。「心」と「体」が偶然にも両方存在していたのが高度経済成長期でした。僕はこれを「昭和システム」と呼んでいます。

みんな出世したい、いい暮らしをしたい、と思っていた時代には、本田 宗一郎のようなリーダーが号令をかければチームが成果を出せました。しかし、今は社員の向上心もモチベーションも激減していて、こんな中で「昭和システム」を適用すると、社員は成果を出せず心まで疲弊していきます。また、子どもの頃から協調性が大切と教えられた社員は、強いリーダーに依存し「事なかれ主義」「付度」が生まれました。ここにあるのは協調性ではなく画一性です。大多数と異なるものを排除する。敵を作らず生きるが勝ち。この「事なかれ主義」「付度」は、今も日本のあらゆる組織の中で生き続け、時代に即した変化や成長の機会が失われています。

次に年男放談をする時には、日本の組織も少しは変わったな、と言えるようになっていたことを祈って、今日の放談をこれで終わります。ご清聴ありがとうございました。



年男・年女放談

川妻 利絵君

入会4年目を迎えたばかりの川妻でございます。私の誕生日は広島原爆記念日8月6日です。この日は原爆でなくなった父の姉の命日で予定日より早く祖母が「この子は8月6日にきっと生まれる」と言っていたそうです。小さいころから私は

原爆でなくなった伯母に性格も顔もよく似ていた
そうなので生まれ変わりと言って大変かわいがら
れました。特に祖父の晩年はよく間違えられてい
たものです。とは言え原爆記念日のため、子供の
ころから誕生日として祝ってもらった記憶はほと
んどありませんでしたので、少々この日に生まれ
たことを恨んでおります。

今回このように自分の年を公開いたしましたの
で、是非とも還暦を一緒にお祝いしていただけれ
ばとても嬉しいです。

さて、最初の干支一回り目、私は幼少期、父の
仕事の関係で東京で育ち、中学高校は岡山、短大
は京都。小学校から短大までミッションスクールの
女校で育ちました。私自身大人しく決して目立
つような存在ではありませんでした。短大卒業後
広島に戻り、両親のアカシアつながりである国会
議員をされていた栗屋 利信先生の後援会事務所
でお世話になりました。その当時の私をご存じの
山木さん・川西さん・岡野さん・森信さん・荒谷
さんたちには、大変お世話になりました。なんせ
政治の世界には縁がなかった私にとりまして、多
くの政治家の先生方（田中 角栄先生や竹下 登先
生、金丸先生）や経営者の方々が出入りする後援
会事務所での仕事は、一見華やかに思われますが
なかなか大変で、おまけに出馬1度目の落選選挙
を経験しましたので、まだ若い私には少々きつく、
やめるための理由に相手もいないのに「結婚のた
め」と事務所を退職いたしました。その当時の広
電の石松社長をはじめ、いろいろな方にお見合い
をご紹介していただき、退職理由を現実のものに
しなければという焦りと子供のころからお嫁さん
になりたいという夢の実現のため結婚。

二回り目の干支のころには長女を出産。自分で
言うのもなんですが、子育てに家事になかなかの
良妻賢母だったと思っております。パンやピザ、
お味噌も手作り、今でいうテイクアウトを利用す
ることはほぼなく三度の食事におやつまで手作り
をしていました。習い事もフラワーアレンジメン
トにはまり、子供たちの幼稚園の担任の先生の結
婚式にブーケを作ってプレゼントするまででした。
車も沢山の乗れるワゴン車で、4人の子供たちそ
れぞれの習い事や趣味の送り迎えが毎日の仕事でし
た。土日は、サッカーにバレーボールとあちらこ

ちらの遠征に子供をたくさん乗せて応援。PTAも
かって出るようになり、多い時には幼稚園、小学
校、中学校、高校と同じ年に役員をやったほどで
趣味はPTAと言っていたほどです。実はそのころ
からおとなしいはずの私の性格が、積極的・社交
的、そして人を巻き込む能力が芽生え、24時間を
いかに効率的に家事と子供の送迎とPTA活動をこ
なすかを考えながら、一日一日充実した日々を送っ
ていました。

ママ友とのランチ会も楽しく、今思えばなんと
贅沢な時間を送っていたのかと思います。

そんな時間を送っていた私にも大きな転機が来
ました。専業主婦だった私に、父から「今の社長
がおりたいといっている。社長に僕が返り咲くに
は年を取りすぎているし、お前にやってもらえな
いか？」とのことでした。当時、末っ子はまだ小
学校の2年生。

「果たして、専業主婦の私が経営なんてできる
のだろうか？」ずいぶん自問自答しました。今で
はそれなりの経験も積み重ねてまいりましたが、
子供たちにとりまして、専業主婦のお母さんから
働くお母さんで、おまけに一家の主として、また
会社の経営者ということで、仕事中心の生活に
様変わり。運動会や授業参観など学校行事にも顔
を出せないこともあり、寂しい思いをさせたと
思います。特に末っ子は、私の出張の時など一人
で留守番を強いさせていました。今でいう働き方
改革どころか仕事中心の生活に一変してしまい、
子供に本当に申し訳ないことをしたと思ってお
ります。特に末っ子は、家族旅行などに行った回数
も少なく、ある時東京出張に連れていき、私は事
務、娘はディズニーランドの中に入れて、ここから
出ないで仕事を終わらせたなら迎えに来るからと、
置いて行ったこともあります。その時は「一人だと
楽しくなかった」と、ずいぶん怒られました。翌
日は、その反省も踏まえて、原宿やら渋谷やら
散々買い物に付き合いさせられました。それでも
「ママの仕事する姿かっこいい！」と言ってく
れた時は、うれしかったです。親を頼れないため、
一人で何でも決める子に育ち、自立しすぎるぐ
らいで、今ではオーストラリアに在住、台湾人の男
性と結婚してしまいました。

それなりに苦勞も多く三回目、四回目の干支は、

記憶にない程ですが、少なくとも専業主婦のころよりは多くの人と出会い、大変なことも多いですがそれなりに充実した日々を送ってきました。

特に私が経営者になった十数年前から、今までの清掃から『ナイチンゲール看護覚書』をベースに環境衛生士の資格を私を中心に社員と勉強し、取得し『環境衛生』に力を入れた清掃に変えました。弊社ではアメリカEPA登録（米国環境保護局）やカナダのDIN認証（カナダ医薬品認証番号）を取った洗剤や消毒剤をアメリカCDC（米国疾病予防管理センター）のガイドラインに沿って、教育に力を入れた清掃をしています。ですから、十数年前から接触感染、飛沫感染に清掃スタッフに伝え、手洗いについてもブラックライトを使って手洗いチェッカーで自分の手洗いがどうかをやってみるなど、清掃研修では私も講師になって進めてきました。なんせこの清掃のやり方にしてから数十年インフルエンザの罹患率も0%。このたびのコロナの時にも怖がる人は誰もおらず、「今まで習っているから大丈夫！」と言ってくれたのには心強ささえ感じました。

陽性者が出たお客様の施設の消毒作業は、仕事を手伝ってくれている長女を中心に、社員たちが進んで参加してくれたことには本当に感謝です。まさに継続は力なりです。

最初に申し上げましたが、今年の8月で60周年を迎えます。これを機に、社名の変更の準備をしています。この業界には珍しく女性の経営者で、今現在、長女も頑張ってくれていますので、そのあたりが表現できればと、準備を進めているところです。



例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 浜田 広
幹事 原 敬

広島西RC **検索** 
事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrcc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会